

基本構想策定について

1 基本構想

新たなごみ処理施設の整備を進めていくための必要事項となる

「関連する基礎データや動向等の調査」「基本的な考え方」「施設整備の方向性」の取りまとめや検討を行うとともに、

「焼却施設・不燃物処理施設のイメージ」「関係者間でのスケジュール感」に関する合意形成を図る。

(「廃棄物処理施設整備計画 H30.6」「多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備促進ガイダンス R3.3」の国の方針を踏まえる。)

〈〈基本構想 ⇒ 基本計画 ⇒ 設計 ⇒ 工事 ⇒ 供用開始〉〉

2 構想項目と検討等内容

(1) 基本方針(施設整備の方向性)

上位計画や関連計画等に掲げられている、理念・方針・目標に沿って、廃棄物処理施設整備に係る方向柱(テーマ)を設定。

(2) 将来ごみ量

将来人口推計結果(R1.10)、及び「芦屋市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)」の中間見直し(今年度中策定完了に向け審議会等で検討中。)により整理。

ごみ：燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ

(3) 施設規模

焼却施設について、上記(2)による将来ごみ量に、焼却施設の稼働率、さらに、災害ごみ量を加え規模(案)として算定。

(最終的な規模は、「芦屋市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)」の目標値を踏まえ検討を行う。また、次年度策定する「基本計画」には有識者等からの意見を反映させる予定。)

(4) 処理技術(処理方式)

燃やすごみの処理方式分類として、焼却・燃料化・バイオマス等、また、その他のごみの処理についての分類や特徴を整理し、大枠で処理方式を絞る。

(5) 建設用地

廃棄物処理施設の設置・土地利用規制・他法令による適合、また、当処理センター用地の整理。

(6) 事業方式

公設公営，公設民営(BDO方式)，民設民営(PFI事業(BT0, BOT, B00各方式))について整理・比較検討し，望ましい・採用可能な方式を区分・整理。

(7) 財政制度

交付金及び起債の制度について整理し，望ましい制度・手法を区分・整理。

(8) 事業スケジュール

事業方式によって異なるものの，概略での事業スケジュールを作成。

(9) 全体配置

各施設の配置場所(エリア)について整理。

(なお，詳細配置については，次年度の「基本計画」策定時に検討。)

(10) その他

焼却エネルギーの利活用(多面的価値創出)に係る方針や具体的手法の整理。

3 他市基本構想の項目・内容

	宝塚 H27.11 策定	尼崎 H31.3 策定	三木 R3.3 策定
基本方針	6つ	理念4つ 理念毎に方針3つ	4つ
将来ごみ量	○	○	○
施設規模	○	○	○
処理技術 (処理方式)	○	○	○
	複数方式に絞込み	分類・特徴の整理	分類・特徴の整理
建設用地	○	○(3案)	○
	選定方法の検討	現在位置の条件整理	現在位置の条件整理
事業方式	○	×	○
	各方式の整理		各方式の整理・比較
財政制度	×	○	○
		交付金制度の整理	交付金制度の整理
事業スケジュール	○	○	○
全体配置	×	○	×
その他	付帯施設 (多面的価値)	×	地域貢献 (多面的価値)
供用予定年度	R10	R13	R11

以上